



長岡京市第二期環境基本計画

実施計画

令和元年度～令和3年度

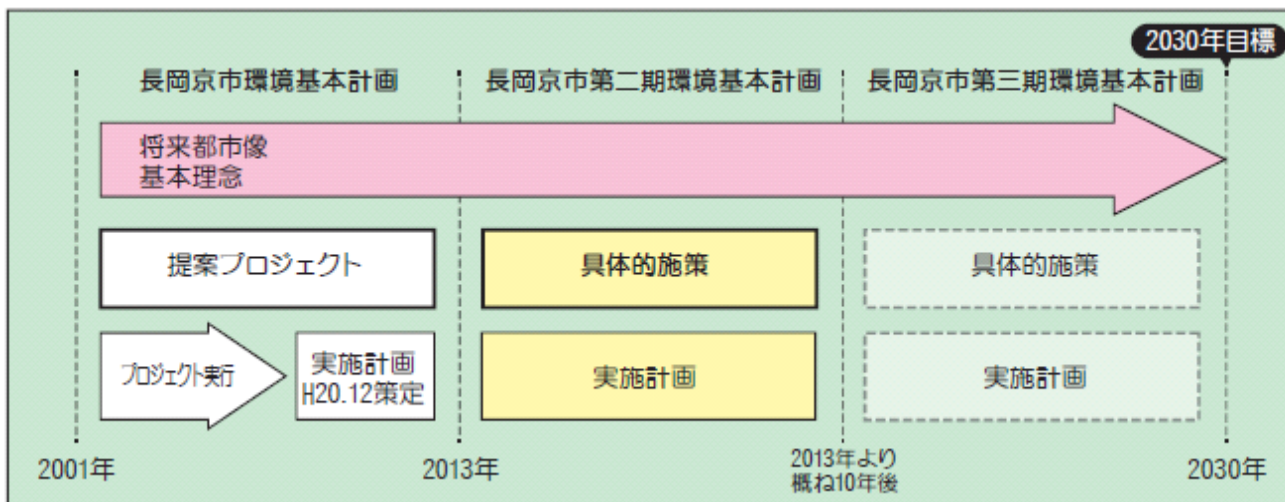


長岡京市

令和3年3月

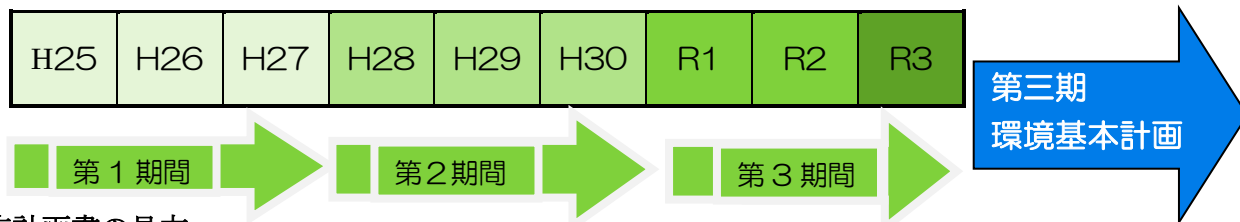
● 長岡京市第二期環境基本計画の期間

- ・計画年次は、概ね 2030 年を最終的な目標年次とし、2013 年 3 月の策定から概ね 10 年間の環境施策を定めるものです。計画を着実に実行するため、第二期環境基本計画実施計画を策定します。



● 長岡京市第二期環境基本計画実施計画の計画期間

- ・令和元年 11 月に長岡京市生活環境審議会から答申が出され、その中で、近年の環境をめぐる動向に早期に対応するため、当初想定していた二期計画の期間を、「令和 4 年度末まで」から「令和 3 年度末まで」とすることが打ち出されました。
- ・上記答申を受け、令和元・2 年度としていた実施計画を 1 年延長し、令和 3 年度末までとすることで、二期計画の最終の実施計画としての改定を行います。



● 実施計画書の見方

1. エネルギーを大切にすまちづくり

(1) 再生可能エネルギーの活用

「計画本編 第 4 章の項目番号」

①家庭、事業所などへの再生可能エネルギーの導入 薪ストーブの設置や西山産薪の購入のための助成を実施し、住宅用太陽光発電システムをはじめとする再生可能エネルギーの普及啓発を行います。						
	実施内容	平成 29 年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和 2 年度目標値	令和 3 年度目標値	担当課
●	薪ストーブ設置助成・西山産薪購入助成の実施	薪ストーブ助成 件数 3 台 薪購入助成 864 束	薪ストーブ助成 件数 3 台 薪購入助成 900 束	薪ストーブ助成 件数 3 台 薪購入助成 950 束	補助制度の見直し	環境政策室

「総計」＝長岡京市第 4 次総合計画の目標指標と同じもの

「新規」＝令和元年度から実施内容が追加となったもの

「変更」＝令和元年度から実施内容が変更となったもの

● 計画の管理・推進体制

各主体は、長岡京市第二期環境基本計画の着実な推進のために、役割を分担し取り組むものとします。

【長岡京市生活環境審議会】

- ・長岡京市第二期環境基本計画の進捗管理と評価
- ・市への施策提言

【“環境の都” ステップアップ・チャレンジプロジェクトチーム】

- ・“環境の都” ステップアップ・チャレンジプロジェクト（計画本編第5章）の推進
- ・活動の成果まとめ

【長岡京市】

- ・実施計画の策定・推進
- ・“環境の都” ステップアップ・チャレンジプロジェクトチームの活動との連携、協働
- ・計画の進捗状況の報告等について、情報発信、市民への周知
- ・生活環境審議会事務局、“環境の都” ステップアップ・チャレンジプロジェクトチーム事務局

計画における役割 主な主体	第4章基本施策	第5章ステップアップ・ チャレンジ
長岡京市生活環境審議会	進捗管理と評価 施策提言	進捗管理と評価
ステップアップ・チャレンジ プロジェクトチーム	実施内容の行政との連携	進捗状況のまとめ
長岡京市	実施計画の策定 進捗状況の公表	チームのメンバーとして 参画・協働

1. エネルギーを大切にすまちづくり

【令和4年に再生可能エネルギーの世帯当たり普及率5%以上目指します！】

目標	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
再生可能エネルギーの世帯当たりの普及率	3.61%	4.18%	4.45%	4.73%	環境政策室

(1) 再生可能エネルギーの活用

①家庭、事業所などへの再生可能エネルギーの導入 薪ストーブの設置や西山産薪の購入のための助成を実施し、住宅用太陽光発電システムをはじめとする再生可能エネルギーの普及啓発を行います。					
実施内容	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
薪ストーブ設置助成・西山産薪購入助成の実施	薪ストーブ助成件数3台 薪購入助成864束	薪ストーブ助成件数3台 薪購入助成900束	薪ストーブ助成件数3台 薪購入助成950束	補助制度の見直し	環境政策室

②公共空間における再生可能エネルギーの導入 学校や公共施設などの建て替えなどの場合に、可能な限り再生可能エネルギーを導入していきます。					
実施内容	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
公共施設における発電量の把握及び新築・改築時の再生可能エネルギー導入	—	発電量の把握 再生可能エネルギーの導入	発電量の把握 再生可能エネルギーの導入	発電量の把握 再生可能エネルギーの導入	環境政策室

③住民参加型再生可能エネルギー利用システムの導入 地域特性等を踏まえた再生可能エネルギーの活用を図るための住民参加型の仕組みづくりを検討します。					
実施内容	基準値	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
竹林資源の活用方法・自治体PPS(シュタットベルケ)の調査・検討	他市事例研究竹チップの燃焼実験、講演会(シュタットベルケ) (平成30年度見込み)	他市事例研究 企画検討	他市事例研究 企画検討	他市事例研究 企画検討	環境政策室

	④地域特性等を踏まえた再生可能エネルギー導入の検討 地域特性等を踏まえた再生可能エネルギーの活用を図るための住民参加型の仕組みづくりを検討します。					
	実施内容	基準値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
変更	《再掲》 竹林資源の活用方法・自治体 PPS（シュタットベルケ）の調査・検討	他市事例研究 竹チップの燃焼実験、講演会（シュタットベルケ） （平成30年度見込み）	他市事例研究 企画検討	他市事例研究 企画検討	他市事例研究 企画検討	環境政策室

(2) 省エネルギーの推進

変更	①エネルギー効率の改善 市域全体の省エネルギーを推進するため、中小企業に向けて省エネ診断等の情報提供を行います。また、新庁舎の建設において、ZEB（※）の実現のため省エネ仕様や再生可能エネルギーの活用など、脱炭素型社会を目指した庁舎づくりを進めます。					
	実施内容	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
変更	中小企業等に向けた省エネ診断等の情報提供	—	省エネ診断、 再エネコンサル ジュの情報提供	省エネ診断、 再エネコンサル ジュの情報提供	省エネ診断、 再エネコンサル ジュの情報提供	環境政策室
総計	環境に優しい市庁舎の建設	長岡京市庁舎 等再整備基本 計画の策定	新庁舎建設 実施設計	新庁舎建設 (一期庁舎) 工事着工	新庁舎建設 (一期庁舎) 工事	公共施設 再編推進室

※ZEB…Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギー（化石燃料やウラン、太陽光など自然に存在する状態のエネルギー）の収支をゼロにすることを目指した建物のことです。なお①省エネで50%以下まで削減する ZEB Ready、②省エネと創エネにより25%以下まで削減する Nearly ZEB、③省エネと創エネにより0%以下まで削減する ZEB の3段階で定義されています。

	②持続可能型エネルギーシステムの地域モデルの開発 環境活動団体と連携し、省エネナビを活用して、家庭での省エネを普及・啓発していきます。					
	実施内容	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
	省エネナビモニター事業の実施	参加世帯 電気使用量 前年比平均 8.3%削減	参加世帯 電気使用量 前年比平均 10%削減	参加世帯 電気使用量 前年比平均 10%削減	事業のあり 方の検討	環境政策室

<p>③省エネルギーの取組み拡大につながる広報・キャンペーンの展開</p> <p>特にエネルギー使用量が増える夏季・冬季には、広報紙やHPを活用して省エネの呼びかけを行います。また、自治会などのコミュニティへの呼びかけをとおして、啓発に力を入れていきます。</p>						
	実施内容	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
	夏季・冬季における省エネの呼びかけ	広報紙・HPでの啓発 省エネモニター結果の公表	広報紙・HPでの啓発 省エネモニター結果の公表	広報紙・HPでの啓発 省エネモニター結果の公表	広報紙・HPでの啓発 省エネモニター結果の公表	環境政策室

(3) エコ建築の普及

<p>①エネルギー効率の高い建築物の整備</p> <p>新庁舎の建設において、ZEBの実現のため省エネ仕様や再生可能エネルギーの活用など、脱炭素型社会を目指した庁舎づくりを進めます。また既存の建物では、グリーンカーテンの設置で空調を効率よく利用できる取り組みを進めます。</p>						
	実施内容	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
変更 総計	《再掲》 環境に優しい市庁舎の建設	長岡京市庁舎等再整備基本計画の策定	新庁舎建設 実施設計	新庁舎建設 (一期庁舎) 工事着工	新庁舎建設 (一期庁舎) 工事	環境政策室
	公共施設での緑のカーテン等緑化の取り組み	公共施設 5箇所実施 小中学校 11校実施	公共施設での 緑化規模拡大 全14校	公共施設での 緑化規模拡大 全14校	公共施設での 緑化規模拡大 全14校	公園緑地課 学校教育課

<p>②エコ建築普及につながる情報の発信</p> <p>開発に伴うまちづくり協議の際に、建築業者等へ案内を実施します。</p>						
	実施内容	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
変更	まちづくり協議時の案内内容の更新	案内実施	案内実施	案内実施	案内実施	環境政策室

<p>③建築物のエコ化につながる仕組みづくり</p> <p>住宅そのもののエコ化を進めるため、エコリフォームに対して助成を実施します。</p>						
	実施内容	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
	住宅エコリフォーム助成の実施	助成件数 3件	助成件数 10件	助成件数 10件	補助制度の見直し	環境政策室

(4) エコ交通システムの導入

①公共交通利用の促進 コミュニティバスの運行を継続するとともに、公共交通利用促進の啓発を行い、自家用車の利用を減らすことで、環境への負荷の低減や交通渋滞の緩和につなげます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
総計	利用啓発及び利便性向上策の実施	はっぴいバス 1 便あたりの 利用者数 13.6 人	はっぴいバス 1 便あたりの 利用者数 14.7 人	はっぴいバス 1 便あたりの 利用者数 15.0 人	はっぴいバス 1 便あたりの 利用者数 15.0 人	交通政策課

②低公害車の導入 公用自動車を低公害車へ転換し、環境負荷軽減に努めます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	公用車への天然ガス、ハイブリッド、電気自動車等の低公害車導入	導入率 60.0%	導入率 65.0%	導入率 70.0%	次世代自動車 導入に向けた 庁内調整	公用車 保有課

③自動車の排出ガスの抑制 エコドライブ(※)について啓発を行い、排出ガス抑制につなげます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	エコドライブ啓発	啓発活動 2 回 市 HP での 情報提供	啓発活動 2 回 市 HP での 情報提供	啓発活動 2 回 市 HP での 情報提供	啓発活動 2 回 市 HP での 情報提供	環境政策室

※エコドライブ … 環境負荷の軽減に配慮して自動車を使用すること。

④自転車利用の促進 自転車が走行しやすい道の整備を行い、自家用自動車での移動を減らすことにつなげます。また歩行者優先の自転車歩行者道の整備もあわせて行います。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
総計	自転車走行空間の整備	20m	200m	200m	200m	道路・河川課

⑤電気自動車の充電設備の導入 電気自動車の普及促進のため、充電設備を整備し、利用促進を図ります。							
	実施内容		平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
変 更	急速充電 器の利用 促進	長岡京市役所 駐車場	214 台	—	—	—	環境政策室
		【変更理由】本庁舎建替えに伴う工事により使用不可					
	阪急西山天王山駅 市営駐車場	利用台数 298 台	利用台数 300 台	利用台数 300 台	利用台数 300 台	交通政策課	

2. 資源循環型社会の形成

【平成 34 年に一人一日当たりの収集ごみ量 523g 以下を目指します！】

目標	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
一人一日当たりの収集ごみ量	525.9g	520.6g	512.8g	504.03	環境業務課

(1) 廃棄物の発生抑制・再生利用の推進

①廃棄物の発生抑制 生ごみを減量するため保育所及び小中学校給食の食品残渣の再資源化事業を進めます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	保育所及び小中学校給 食から排出される生ご みを再資源化すること によるごみの減量	2 保育所で再 資源化を検証	保育所 5 カ所 小学校 3 校 中学校 4 校	保育所 5 カ所 小学校 10 校 中学校 4 校	再資源化量 68,500kg 以上	環境業務課

②廃棄物発生抑制、再生利用につながる広報活動の展開 自治会や学校・保育所などへの出前講座を実施し、ごみ減量の啓発に努めます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	出前講座の実施拡充	実施回数 15 回/年	実施回数 18 回/年	実施回数 18 回/年	実施回数 18 回/年	環境業務課

③廃棄物減量等推進員会議の活動促進 廃棄物減量等推進員会議の会員の研修や活動をとおして、地域全体のごみ減量につなげます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	廃棄物減量に伴う研修 会及び啓発活動	研修会 3 回 啓発活動 1 回	研修会 4 回 啓発活動 1 回	研修会 4 回 啓発活動 1 回	研修会 3 回 啓発活動 1 回	環境業務課

(2) 資源回収の推進

①分別収集の促進 使用済み小型家電の宅配便回収サービスを実施し、不要となった小型家電製品の再資源化に努めます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	宅配便回収サービスによる使用済み小型家電の回収量	2.2 t	2.7 t	3.0 t	3.3 t	環境業務課

②市民が主体となった資源回収の支援 資源ごみの集団回収助成を継続して実施します。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	資源ごみ集団回収助成事業	集団回収拠点 86 団体	団体数の維持	団体数の維持	団体数の維持	環境業務課

(3) 廃棄物の適正処理

①一般廃棄物等の適正処理（平成 29 年度より目標値を修正） 安全で適正なごみ処理に努めるとともに、分別を推進し、最終処分量の削減に努めます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	一般廃棄物（家庭系・事業系）を収集し、適正に処理する	一般廃棄物量 21,441.36 t	一般廃棄物量 20,533.05 t	一般廃棄物量 20,196.17 t	一般廃棄物量 19,860 t	環境業務課

②一般家庭用可燃ごみの収集 家庭用可燃ごみの適正な処分を行うとともに、広報紙等とおして、排出量の削減の啓発を行います。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
総計	週 2 回の収集を実施し、適正に処分する	住民一日 一人当たりの ごみ排出量 448.38 g	住民一日 一人当たりの ごみ排出量 427.59 g	住民一日 一人当たりの ごみ排出量 418.73 g	住民一日 一人当たりの ごみ排出量 410.60 g	環境業務課

③粗大ごみの収集 粗大ごみの不法投棄を減らし、適正に収集・処理を行っていきます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	受益者負担による粗大ごみの適正処理	家庭系粗大 ごみ収集量 159.64 t	家庭系粗大 ごみ収集量 260.05 t	家庭系粗大 ごみ収集量 258.60 t	家庭系粗大 ごみ収集量 257.80 t	環境業務課

④適正処理に向けた広域連携 乙訓二市一町の共通課題である事業系ごみの排出量削減に向けて対策を検討します。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	乙訓二市一町での事務 連絡会の開催による処 理課題の解決	事業系ごみの 排出量 5,894.61t	事業系ごみの 排出量 5,131t	事業系ごみの 排出量 5,058t	事業系ごみ の排出量 4,993t	環境業務課

(4) 水資源の有効活用・水環境の整備

変 更	①雨水利用の推進 節水を促し、雨水を有効に活用するため、雨水貯留タンクの設置補助を行います。					
	実施内容	基準値	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
変 更 総 計	雨水貯留タンク 設置数(累計)	451 基 (平成 30 年度見込み)	600 基	650 基	40 基/年	上下水総務課

②水を大切にするライフスタイルの普及啓発 水だよりを発行し、無駄な水を使わないライフスタイルの普及・啓発に努めます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	水だよりの発行	3 回/年発行	3 回/年発行	3 回/年発行	3 回/年発行	上下水総務課

③下水道事業の推進 水循環機能の保全と整備を図るため、「水循環再生プラン実施計画」を策定し、雨水の貯留・浸透施設の整備を実施します。また、大雨等の浸水被害の軽減を図るため、雨水施設の整備を進めます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
総 計	小中学校に雨水貯留 浸透施設を設置	2 校	水循環再生 プランの見 直しを含め た事後評価 と検討	水循環再生 プランの見 直しを含め た事後評価 と検討	水循環再生プ ランの見直し	下水道施設課
総 計	10 年降雨確率に対す る雨水対策整備率※	67.7%	69.8%	69.8%	69.8%	下水道施設課

※おおむね 10 年に 1 回の大雨を想定し、下水道施設の整備を行います。このような下水道整備ができた区域の比率を「雨水対策整備率」といいます。

3. 自然環境の保全

【平成 34 年に西山の森林の CO₂ 吸収量 1,300t-CO₂ 以上を目指します！】

目標	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
西山の森林の CO ₂ 吸収量	累計 1,487.08t-CO ₂	累計 1,502t-CO ₂	累計 1,517t-CO ₂	累計 1,532t-CO ₂	農林振興課

(1) 西山の保全・再生・活用

①西山の森林整備 市の財産である西山を健全に守っていくため、森林整備を進めます。また利用間伐(※)を進め、継続的な森林整備につなげます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
総計	森林整備面積(竹林含む)	延べ 295.09ha	延べ 304ha	延べ 312ha	延べ 320ha	農林振興課
	森林整備面積のうち利用間伐面積	延べ 11.54ha	延べ 12.0ha	延べ 12.5ha	延べ 13.0ha	農林振興課

※間伐(かんばつ)…健全な森林育成のために樹木を間引くこと。利用間伐とは、その木材を利用すること。

②西山の生態系の保全 西山の多様な動植物を守るため、モニタリング調査を実施する団体等の支援を行います。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	モニタリング 1000 里地調査の支援	調査項目 4 項目	調査項目 3 項目	調査項目 3 項目	調査項目 3 項目	環境政策室

③西山の有効活用 西山への理解を深めてもらうため、キャンプ場等の有効活用を進めます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	西山キャンプ場の有効活用	老朽化した付帯設備等の修繕と活用方法の検討	老朽化した付帯設備等の修繕と関係課等との活用方法の検討	老朽化した付帯設備等の修繕と関係課等との活用方法の検討	老朽化した付帯設備等の修繕と関係課等との活用方法の検討	生涯学習課

④森林組合の育成 所有者が共同で事業を行うための森林組合を組織、運営し、森林保全等を円滑に実施していきます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	森林組合の組織運営維持	組合員数 104 人	組合員数 104 人	組合員数 104 人	組合員数 104 人	農林振興課

(2) 竹林の保全・再生・活用

①竹林の整備 西山の健全な森の育成や美しい景観保全のため、竹林整備を進めます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	竹林整備面積	延べ 19.13ha	延べ 21.5ha	延べ 23.0ha	延べ 24.5ha	農林振興課

②竹の利活用の調査研究 竹林整備により発生した竹材の活用を図るため、竹粉や竹チップとして有効活用を進めます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
総計	竹粉・竹チップの累計 活用量	累計 74.1 m ³	累計 84 m ³	累計 100 m ³	累計 116 m ³	農林振興課 環境政策室

(3) 環境にやさしい農業の推進

①低化学肥料農業等の推進 通常より手間や費用のかかる有機栽培を行っている農家に対し、補助金を交付し、安全・安心な農業の普及に努めます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	有機栽培に対する補助金の交付	300 千円/年	300 千円/年	300 千円/年	300 千円/年	農林振興課

②市民農園の充実 市民に農業に親しんでもらうために市民農園を運営していきます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	シルバー農園の運営	利用者数 169 人	利用者数 188 人 (最大定員)	利用者数 188 人 (最大定員)	利用者数 180 人 (最大定員)	高齢介護課

③地産地消の推進 学校給食に地元野菜をできるだけ取り入れ、地域固有の食文化の継承を進めていくとともに、フード・マイレージ（※）の低減にもつなげます。また、農家の安定的な販売ルートとしていきます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
総計	地産地消推進協議会 の開催による取組み の充実	学校給食 納品額 740 万円	学校給食 納品額 972 万円以上	学校給食 納品額 1,000 万円以上	学校給食 納品額 1,000 万円以上	農林振興課

※フード・マイレージ … 直訳は、食糧の輸送距離。環境分野での用語として、食糧の輸送に伴う二酸化炭素が地球環境に与える負荷のこと。

④農地の保全 農地銀行制度（※）を活用し、利用されていない農地を減らしていきます。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	農地パトロールの実施 及び農地銀行制度の活 用	遊休農地 11.7ha	遊休農地 11.0ha 以下	遊休農地 9.2ha 以下	遊休農地 12.8ha 以下	農林振興課

※農地銀行制度 … 農家どうしで農地の貸し借りを円滑に行うための本市独自の制度。農業委員会が仲介を行う。

(4) 水辺環境の保全・再生

①河川・水路の維持管理 河川・水路の維持管理のため、清掃を行う個人や団体を支援します。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	河川清掃支援	参加者数 254 人	参加者数 280 人	参加者数 280 人	参加者数 280 人	道路・河川課

②ホタルの保護と育成 ホタルが生息できる自然環境を保全するため、団体や地元と協力し、河川の清掃等を行います。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	ホタルの人工飼育の実施 小泉川流域での河川清掃 ホタル保護育成の市民啓 発	ホタルの生息 地域 西代橋 ～菩提寺橋 観賞のタベ、 捕獲防止パト ロールの実施	ホタルの生息 地域 西代橋 ～菩提寺橋 観賞のタベ、 捕獲防止パト ロールの実施	ホタルの生息 地域 西代橋 ～菩提寺橋 観賞のタベ、 捕獲防止パト ロールの実施	ホタルの生息 地域 西代橋 ～菩提寺橋 観賞のタベ、 捕獲防止パト ロールの実施	環境政策室

4. 快適な都市環境づくり

【平成34年に住民一人当たり公園面積の増加を目指します！】

目標	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
住民一人当たり公園面積	3.22 m ²	3.22 m ²	3.32 m ²	3.42 m ²	公園緑地課

(1) 身近な緑の保全・創出

①まちなかの緑の創出 みどりのサポーター制度(※)と連携して植栽を行うなど、まちなかでの身近な緑の保全、創出を行い、緑豊かなまちづくりに取り組みます。また、緑の講習会やグリーンカーテンコンテストを実施します。						
	実施内容	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
	まちなかの公共空地等に植栽	まちなかに創出した緑被面積累計 2,862 m ²	まちなかに創出した緑被面積累計 2,950 m ²	まちなかに創出した緑被面積累計 3,000 m ²	まちなかに創出した緑被面積累計 3,050 m ²	公園緑地課
総計	緑の講習会の参加数・グリーンカーテンコンテスト等への応募数	367人	460人	465人	470人	公園緑地課

※みどりのサポーター制度 … 市内の公園や道路に植樹やごみを減らす活動を行う人々を支援する制度。サポーターとして登録されたグループには、花苗の提供や清掃用具の貸し出し等の支援を行う。

②公園緑地の整備・維持管理 公園を整備し、市民が憩えるまちをめざします。						
	実施内容	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
	新規公園の整備・既存公園の維持管理	住民1人あたりの公園面積 3.22 m ²	住民1人あたりの公園面積 3.22 m ²	住民1人あたりの公園面積 3.32 m ²	住民1人あたりの公園面積 3.42 m ²	公園緑地課

③緑の協会と連携した緑化の推進 みどりのサポーター制度を継続し、市内の公園などの緑化や維持管理を進めます。						
	実施内容	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
総計	みどりのサポーター制度の普及	みどりのサポーター数 95団体	みどりのサポーター数 105団体	みどりのサポーター数 108団体	みどりのサポーター数 106団体	公園緑地課

(2) 環境に配慮した都市の整備

①中心市街地における環境配慮型の都市基盤整備 歩道等の舗装を変えることで、遮音やヒートアイランド対策につなげます。また渋滞の緩和や中心市街地の活性化のため、阪急長岡天神駅周辺整備について検討していきます。						
	実施内容	基準値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
変更 総計	歩道の透水性舗装の施工	長岡京駅前線整備に係る設計に反映 (平成29年度実績)	長岡京駅前線第3工区の工事に反映	長岡京駅前線第4工区の設計に反映	長岡京駅前線第4工区の工事に反映	まちづくり政策室
変更 総計	阪急長岡天神駅周辺整備の検討	長岡天神駅周辺整備基本計画の策定 (平成30年度見込み)	区画整理事業基本調査 【区画整理予定地(案)】	区画整理事業調査 【概略設計】	暫定事業設計 用地取得	まちづくり政策室

②歩行者優先の道路空間整備 府や市の道路空間を整備し、歩行者が歩きやすいまちづくりを行い、自家用自動車での移動を減らすことにつなげます。また自転車歩行者道の整備もあわせて行います。						
	実施内容	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
総計	歩行者道の整備	256m	450m	570m	570m	道路・河川課
	電線類地中化の推進	長岡京駅前線整備に係る設計に反映	長岡京駅前線第3工区の工事に反映	長岡京駅前線第4工区の設計に反映	長岡京駅前線第4工区の工事に反映	まちづくり政策室

③個性ある景観の保全・形成 西山や八条ヶ池など本市の個性ある景観を保全していきます。						
	実施内容	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
総計	「長岡京市景観計画」の内容見直し	公共施設景観形成方針等の検討及び審議	新景観計画に基づく景観形成ガイドライン改訂の検討	新景観計画に基づく景観形成ガイドラインの改訂	新景観計画及び景観形成ガイドラインに基づく運用	都市計画課

(3) 歴史文化資源の保全・活用

①歴史的名所の活用 歴史名所の活用をとおして、本市独特の景観やまちなみを保存していきます。						
	実施内容	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
	神足ふれあい町家の活用	入館者数 18,939人	入館者数 維持	入館者数 維持	入館者数 維持	生涯学習課

②ふるさと資料館の整備 本市の歴史を伝え、本市固有の文化や伝統を保全、継承していきます。						
	実施内容	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
総計	埋蔵文化財センターの 啓発事業参加者数	参加者数 2,848人	参加者数 3,600人	参加者数 3,600人	参加者数 3,600人	生涯学習課

(4) 環境美化の推進

①地域の清掃活動の促進 ごみゼロ運動を支援し、市民の美化意識の向上を図ります。						
	実施内容	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
	530 運動参加団体への 支援	108 団体 10,270 人	支援継続	支援継続	支援継続	環境業務課

②散乱ごみのない美しいまちづくり まちをきれいにする条例に基づき、市民の美化意識の向上を図るとともに、美化パトロールとワンワンパトロールを行います。						
	実施内容	平成29年度 実績(基準 値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
変更	美化パトロール・ワン ワンパトロールの実施	美化パト ロール 20回/月 2回/日 ワンワン パトロール 2回/日	環境美化推進 員による美化 パトロール 1回/週 年間60日 夜間パトロー ル等における ワンワンパト ロール 1~2回/月	環境美化推進 員による美化 パトロール 1回/週 年間60日 夜間パトロー ル等における ワンワンパト ロール 1~2回/月	環境美化推進 員による美化 パトロール 1回/週 年間60日 夜間パトロー ル等における ワンワンパト ロール 1~2回/月	環境政策室

(5) 適切な環境管理

①環境調査の推進 騒音・水質等の各種環境調査を実施し、結果によっては適切な対策を進めます。						
	実施内容	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
	各種環境調査の実施	基準超過件数 12件	基準超過件数 減少	基準超過件数 減少	基準超過件数 減少	環境政策室
総計	小畑川、小泉川の水質の保全	小畑川・小泉川 透視度：30cm以上 BOD：0.5mg/l以下 PH：7.8・7.9	小畑川・小泉川 透視度：30cm以上 BOD：2mg/l以下 PH：6.5～8.5の維持	小畑川・小泉川 透視度：30cm以上 BOD：2mg/l以下 PH：6.5～8.5の維持	小畑川・小泉川 透視度：30cm以上 BOD：2mg/l以下 PH：6.5～8.5の維持	環境政策室

②環境保全に係る啓発 誰もが住みやすいまちづくりを進めるため、継続してポイ捨て禁止や犬のフンの持ち帰りなど生活環境向上のための啓発を行います。						
	実施内容	平成29年度実績(基準値)	令和元年度目標値	令和2年度目標値	令和3年度目標値	担当課
	生活環境向上のための啓発	広報長岡京 2回掲載 市ホームページ掲載	広報紙への生活環境マナー啓発記事の掲載	広報紙への生活環境マナー啓発記事の掲載	広報紙への生活環境マナー啓発記事の掲載	環境政策室

5. 協働・環境学習・エコアクションの推進

【平成34年に環境ボランティア養成講座の延べ受講者数の増加を目指します！】

目標	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
環境ボランティア養成 講座の延べ受講者数	延べ81人	受講者数延べ 115人	受講者数延べ 130人	受講者数延べ 145人	農林振興課 ほか

(1) 市民活動のサポート機能の拡充

①市民活動サポートセンター機能の拡充 交流や団体の活動支援を積極的に行い、利用しやすい運営に努めます。						
	実施内容	平成29年度 実績(基準 値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
総 計	市民活動サポートセン ターの管理運営	市民活動サ ポートセン ター 団体登録数 163団体 ネットワー クに関する 相談件数 延べ40件	市民活動サ ポートセン ター 団体登録数 180団体 ネットワー クに関する 相談件数 延べ66件	市民活動サ ポートセン ター 団体登録数 185団体 ネットワー クに関する 相談件数 延べ70件	市民活動・ ネットワーク づくりに関する 相談件数 延べ70件	自治振興室

②各種団体・サークル等の活動支援 環境啓発イベントにおいて団体等の活動を紹介し、環境づくりに取り組む市民を増やします。						
	実施内容	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
	環境団体・サーク ル等の担い手発掘 に向けての支援	ステップアッ プ・チャレンジ 会議の運営/ イベントを通 じた活動紹介	ステップアッ プ・チャレンジ 会議の運営/ イベントを通 じた活動紹介	ステップアッ プ・チャレンジ 会議の運営/ イベントを通 じた活動紹介	ステップアッ プ・チャレンジ 会議の運営/ イベントを通 じた活動紹介	環境政策室

③中間支援組織母体の立ち上げに向けたプラットフォームづくり 環境保全活動団体の課題に対応するため、団体間の交流や担い手発掘を促進し、団体間の連携づくりに取り組みます。						
	実施内容	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
	団体間連携の促進	イベントを通 じた交流	交流会等の 開催	交流会等の 開催	交流の機会の 設定	環境政策室

(2) 環境を担う人づくり・人結び

①環境活動を担う人づくり 環境保全活動の担い手を発掘、育成していきます。また西山での環境学習を実践できる人材を育成します。						
	実施内容	平成 29 年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
	地域の環境活動を担う人材養成講習会・研修会の実施	受講者数延べ 81 人	受講者数延べ 115 人	受講者数延べ 130 人	受講者数延べ 145 人	農林振興課 ほか
	<教員向け>西山の自然を活用した環境学習のオリエンテーションの実施	延べ参加者数 134 名	延べ参加者数 164 名	延べ参加者数 184 名	延べ参加者数 204 名	学校教育課 農林振興課 環境政策室

変更	②グリーンコンシューマー活動の支援 どの店舗で購入しても環境に配慮した製品を購入できるように、環境に配慮した運営をするための啓発を行います。					
	実施内容	基準値	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
変更	環境に配慮した運営の事業所への啓発	スーパーや家電量販店へのクールチョイス啓発 (平成 30 年度見込み)	啓発	啓発	啓発	環境政策室 環境業務課

変更	③環境地域通貨の導入 どの店舗で購入しても環境に配慮した製品を購入できるように、環境に配慮した運営をするための啓発を行います。					
	実施内容	基準値	令和元年度 目標値	令和 2 年度 目標値	令和 3 年度 目標値	担当課
変更	<再掲> 環境に配慮した運営の事業所への啓発	スーパーや家電量販店へのクールチョイス啓発 (平成 30 年度見込み)	啓発	啓発	啓発	環境政策室 環境業務課

(3) 環境学習の推進

①環境学習の機会づくり						
小中学校における環境学習指導時間を今よりも充実させていきます。また、出前講座や環境講演会等、一般向けや学校外での環境学習の機会をつくります。						
	実施内容	基準値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
	小中学校の環境学習の充実	各学年指導 時間数 小学校 18.63時間 中学校 13.58時間 (平成29年度実績)	各学年指導 時間数 小学校 20時間以上 中学校 7時間以上	各学年指導 時間数 小学校 20時間以上 中学校 7時間以上	各学年指導 時間数 小学校 17時間以上 中学校 7時間以上	学校教育課
総計	環境学習会等の開催回数・参加者数	8回 229人/年 (平成29年度実績)	10回 310人/年	10回 315人/年	環境イベント・行事への 参画主体数 38主体	環境政策室
変更新規	放課後子ども教室 (環境活動体験)、 市民企画講座(「環境」 テーマ分)等の 実施	参加者数 210人/年 (平成30年度見込み)	200人/年	200人/年	200人/年	生涯学習課 中央公民館
		講座数 1件/年 (平成30年度見込み)	講座数 1件/年	講座数 1件/年	講座数 2件/年 参加者40人	

②西山を活用した自然体験学習の推進						
西山の大切さを多くの人知ってもらうため、特に子どもたちに体験学習の機会をつくります。						
	実施内容	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
	西山ファミリー環境探 検隊の実施	3回・ 70人参加	4回・ 100人参加	4回・ 100人参加	4回・ 100人参加	環境政策室
	西山を活用した環境教 育の実施	小学校10校	全小学校 (10校)	全小学校 (10校)	全小学校 (10校)	学校教育課

③環境啓発型イベントの開催、イベントへの出展						
環境保全活動に興味を持ってもらうため、参加しやすいイベントを実施し、啓発を進めます。						
	実施内容	平成29年度 実績(基準値)	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	担当課
変更	環境フェア・農業祭な どのイベント実施	参加者数延べ 約4,490人	参加者数延べ 約8,600人	参加者数延べ 約8,600人	参加者数延べ 約8,600人	環境政策室